

各 位

会 社 名 株式会社フォーバル
 代表者名 代表取締役社長 中島 將典
 (JASDAQ・コード番号8275)
 問合せ先 取締役管理本部長 加藤 康二
 電話 03-3498-1541

業績予想の修正及び特別損失の計上ならびに繰延税金資産の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 10 月 31 日に公表した連結業績予想及び平成 23 年 5 月 19 日に公表した個別業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。同時に特別損失が発生しましたことをお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期の連結業績予想数値の修正 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)
 (単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	33,000	700	700	465	円 銭 34.28
今回修正 (B)	34,000	800	830	550	40.55
増減額 (B-A)	1,000	100	130	85	—
増減率	3.0%	14.3%	18.6%	18.3%	—
(ご参考) 前期実績	32,287	681	665	464	34.25

2. 平成 24 年 3 月期の個別業績予想数値の修正 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)
 (単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	13,000	650	500	円 銭 36.86
今回修正 (B)	13,200	780	580	42.76
増減額 (B-A)	200	130	80	—
増減率	1.5%	20.0%	16.0%	—
(ご参考) 前期実績	12,527	633	575	42.43

3. 修正の理由 (連結・個別)

個別において情報通信端末等を利活用した「経営の見える化」を推進してきた成果が販売活動にも着実に現れ、セキュリティ商材や定期訪問付き IT コンサルティングサービス「アイコン」

サービス等が順調に増加した結果、前回予想に対して経常利益が 130 百万円程度上回る見通し
で、当期純利益も 80 百万円程度上回る見通しです。連結業績も同様の理由で営業利益が 100 万
円、経常利益が 130 百万円程度、当期純利益が 85 百万円程度上回る見通しです。

当期純利益に関しては、以降に記載いたしますように特別損失が発生いたしますが、一方で
今年度を含め最近の業績において収益が堅調に推移し、将来にわたり課税所得の発生が見込ま
れることから、税効果会計上の会社区分の見直しを行いました。この結果、解消が長期に渡る
と見込まれる将来減算一時差異に係る繰延税金資産についても回収可能性があると判断し、連
結において約 570 百万円及び個別において約 550 百万円を法人税等調整額に加えて計上する見
込みであります。

4. 特別損失の計上について

(1) 連結子会社株式の評価損の計上及びのれんの減損について

当社が保有する当社連結子会社フォーバル・リアルストレート (JASDAQ・コード番号 9423)
の株式について、年度末の時価が著しく下落し、その回復が認められないと判断したため、個別
決算において関係会社株式評価損 253 百万円を計上いたします。また連結決算においてフォーバ
ル・リアルストレート社株式に係る「のれん」142 百万円の減損損失を計上いたします。

平成 24 年 3 月期における関係会社株式評価損

	個別
(A)平成 24 年 3 月期第 4 四半期会計期間 (平成 24 年 1 月 1 日から平 成 24 年 3 月 31 日まで) の関係会社株式評価損の総額 (=イーロ)	253 百万円
(イ)平成 24 年 3 月期 (平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで) の関係会社株式評価損の総額	253 百万円
(ロ)直前四半期 (平成 24 年 3 月期第 3 四半期) 累計期間 (平成 23 年 4 月 1 日から平成 23 年 12 月 31 日まで) の関係会社株 式評価損の総額	－百万円

※四半期における有価証券の評価方法は、**洗替え方式**を採用しております。

※当社の決算期末は、3 月 31 日です。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	個別
(B)平成 23 年 3 月期末の純資産額	8,488 百万円
(A/B×100)	3.0%
(イ/B×100)	3.0%
(C)平成 23 年 3 月期の経常利益額	633 百万円
(A/C×100)	40.0%
(イ/C×100)	40.0%
(D)平成 23 年 3 月期の当期純利益額	575 百万円
(A/D×100)	44.0%
(イ/D×100)	44.0%

(2) 投資有価証券評価損について

当社が保有する「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復可能性が認められないものについて、投資有価証券評価損332百万円を計上する予定です。

平成 24 年 3 月期における投資有価証券評価損（予定額）

	単体	連結
(A)平成 24 年 3 月期第 4 四半期会計期間（平成 24 年 1 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで）の有価証券評価損の総額（＝イーロ）	332 百万円	355 百万円
(イ)平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで）の有価証券評価損の総額	333 百万円	357 百万円
(ロ)直前四半期（平成 24 年 3 月期第 3 四半期）累計期間（平成 23 年 4 月 1 日から平成 23 年 12 月 31 日まで）の有価証券評価損の総額	0 百万円	1 百万円

※四半期における有価証券の評価方法は、**洗替え方式**を採用しております。

※当社の決算期末は、3 月 31 日です。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	単体	連結
(B)平成 23 年 3 月期末の純資産額	8,488 百万円	5,714 百万円
(A/B×100)	3.9%	6.2%
(イ/B×100)	3.9%	6.2%
(C)平成 23 年 3 月期の経常利益額	633 百万円	665 百万円
(A/C×100)	52.4%	53.4%
(イ/C×100)	52.6%	53.7%
(D)平成 23 年 3 月期の当期純利益額	575 百万円	464 百万円
(A/D×100)	57.7%	76.5%
(イ/D×100)	57.9%	76.9%

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上